



# くにたち市議会だより

第2回定例会  
No.240



発行：国立市議会 編集：広報委員会 国立市富士見台2-47-1

(PC・スマートフォン専用)

平成29年(2017年)8月5日 Tel:042-576-2111 Fax:042-576-2205 <http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai>



富士見台2-38-12

開所日：木・金・土

10:00 ~ 16:00



市民の方から遺贈を受けた住宅について、  
無償貸し付けを行う議案が、全会一致で可決  
されました

多世代交流の居場所オープン

〔第53号議案 3面に結果〕

## 6月議会トピックス

- 農業委員会の委員（10名）が賛成全員で同意されました [3面に結果]
- 監査委員が、議会の賛成多数で同意されました [3面に結果]
- 固定資産評価員が、議会の賛成全員で同意されました
- 国立市の町区域が新設、変更されました
- 自治会の集会所を建築するにあたり、青柳北第二遊園の土地の一部を、無償貸し付けする議案が全会一致で可決されました [2面に詳細]
- 「働き続けながらしょうがい児を育てられる環境整備を求める陳情」が全会一致で採択されました [2面に詳細]
- 「日本軍『慰安婦』問題に対する国の誠実な対応を求める意見書を継承することを求める陳情」が賛成多数で採択されました
- 「国立市内温浴施設に関する陳情」は、福祉保険委員会で継続審査となりました
- 6月議会より、手話通訳を導入し、さらに開かれた議会を目指します [8面に詳細]

## 9月議会(第3回定例会)にお越しください



日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29 議会運営委員会	30	31	9/1 本会議初日	2
3	4	5 本会議	6 本会議	7 本会議	8 本会議	9
一般質問						
10	11	12 総務文教委員会	13 建設環境委員会	14 福祉保険委員会	15	16
17	18	19	20 議会運営委員会	21	22 本会議最終日	23

開会時刻は午前10時の予定です。

請願・陳情のメ切：8月28日(月)正午までに議会事務局へご持参ください。  
なお、提出を希望される方は、早めに議会事務局へお問い合わせください。  
\*日程は変更になることがありますので、市のホームページでご確認ください。

# 【第51号議案】 平成29年度国立市一般会計補正予算（第1号）案 [可決]

総務文教委員会・建設環境委員会・福祉保険委員会



## 総務文教委員会での審査

### こんな質疑がありました

Q. 持続可能な社会づくりに向けた教育推進事業委託金45万円の内容は。

A. 今年度は国立第三中学校がこの取り組みに手を挙げた。主に授業改善に向けた取り組み、教科横断的な視点による組織的な取り組み、外部人材や地域資源等の活用などについて取り組んでいく事業である。

Q. 指定校となった折、限られた時間の中で目に見える効果を出さなければならぬと、超過勤務が発生し、教師の疲弊に繋がってはいないか。

A. 推進事業はそれなりの労力を要すると考える。しかし、それぞれの学校がその年のビジョンと合致する推進事業に手を挙げることで、より金額的面が保障され、目指す方向への推進が加速されるという面もある。その推進力を応援するスタンスで行って参りたい。

Q. 学校教育向上支援事業費について、研究校となる競争から降り、日常の授業研究やクラス経営に専念できる環境作りをし、教育委員会として何らかの形で整理する必要性をどう考えるか。

A. 各校とも自主的に教員全体の中で判断し、負荷がかかっているという意識はないと思っ

### こんな討論がありました

賛成 推進校を進める際、過度な負担の可能性を心配したが、教職員からのポトムアップと理解した。コミュニティ運営支援事業費について周辺環境整備も同時に進めていくことを要望し賛成する。

賛成 教職員の健康状態に目配りし、事務量軽減策も実施すべきだと思ふ。

青柳集会所は地域貢献に寄与している。歩いて行ける距離にこのような施設があることは、高齢化社会に向けて大切と考え、この予算案に賛成する。

## 建設環境委員会での審査

### こんな質疑がありました

Q. 都市公園・緑地帯等の維持管理事業費の中の青柳北第二遊園整備工事の内容は。

A. 設置後35年経ち、老朽化している。遊園の敷地の一部に集会所を設置する事業に伴い、あわせて遊園の設備を更新するものである。主な内容は給水排水設備、広場、ベンチ交換、公園看板、フェンス交換、コンクリートブロックなどを更新する予定である。

Q. 都市公園・緑地帯等の維持管理事業費の中の青柳北第二遊園整備工事で2千220万円の地方債を使うことになるが、東京都の総合交付金は受けられないのか。

A. 今後別途協議をする中で、もらえるものはもらっていく考えである。

Q. 南部地域整備事業費の用地買収費について、当該地域は今まで道路として使用してきた経過があったはずだが、公有地と

して買収しなければならない根拠は何か。

A. 過去から道路として利用させていたが、平成27年に通学路指定がなされたことにより、無償貸借契約を結んでいたが、今回歳出の予算がついたので買わせていただく流れになった。

Q. 南部地域事業費の部分で通称八王子道の測量委託料をあげた根拠は何か。

A. 継続して複数の地権者と協議を進める中で進捗があった。市が地権者に提示するため必要な資料として補正予算を計上した。

### こんな討論がありました

賛成 南部地域整備事業、八王子道の事業の推進、青柳北第二遊園整備工事は、住民にとって必要な予算だ。

賛成 南部地域整備事業は負担がかかるかもしれないが、この機を逃してはならないという判断は理解できる。良好なまちづくりという大きな視点に立って、整備してほしい。

## 福祉保険委員会での審査

### こんな質疑がありました

Q. 子どものための教育・保育給付費負担金はどのような内容か。

A. 歳出の方で特定教育・保育施設における給付費の請求、それに対する歳入である。

Q. 保護者に対して、どういった具体的支援をしていくのか。

A. 認可保育園に国立市のお子さんが通っているので、その施設の運営費として渡す予定である。

# 【第54号議案】 財産の無償貸付けについて[可決]

総務文教委員会

## こんな質疑がありました

Q. 放課後等デイサービスに関して、①市内に何カ所あるのか、②利用時間帯、③利用ニーズの把握、以上3点を問う。

A. ①事業所数は、市内に12カ所。

②平日は午前中から利用できない事業所が4カ所、そのほかが学校の終了後から

・土曜日に開所している事業所は12カ所のうち10カ所  
・夏休み等長期休暇中の利用は、午前9時から利用可能な事業所が2カ所、午前9時半からが2カ所、10時からが4カ所  
③直近の利用の実績は、利用実人員で98名、延べでは130名。

## こんな質疑がありました

Q. 宝くじの助成金、国立市、自治会それぞれの建設費の負担額は。

A. 建設費総額約2千250万円強、そのうち、一般財団法人自治総合センター（宝くじ）の負担額は1千350万円、国立市の負担額は450万円、自治会は450万円強である。

Q. 自治会の高齢化や負担の偏りなどの問題点があるが、今後の自治会へのフォローはどのようなものになるか。

A. 自治会連絡会を年2回にし、互いに課題を共有し自治会を活性化し、応援していく。

## 【陳情第7号】 働き続けながらしょうがい児を育てられる環境整備を求める陳情[採択]

福祉保険委員会

## こんな質疑がありました

Q. 放課後等デイサービスに関する事業所が4カ所、そのほかが学校の終了後から

・土曜日に開所している事業所は12カ所のうち10カ所

・夏休み等長期休暇中の利用は、午前9時から利用可能な事業所が2カ所、午前9時半からが2カ所、10時からが4カ所

③直近の利用の実績は、利用実人員で98名、延べでは130名。

## こんな討論がありました

採択 事業者間の連絡協議会が今必要である。制度として国や

賛成 これからの国立市の公共施設の在り方として一つのモデルケースと成り得るので、本議案に賛成する。

賛成 指定管理ではなく、地域の財産を自治会が管理することになるので将来負担とならぬよう、市としてもサポートしていただきたい。モデルケースとなると思うので、しっかりと進めて頂けることを要望し賛成する。

ユニティの場所があることは大切である。行政と自治会が協力し、自治会が自立して管理するというところで賛成する。



東京都に対してお願いをする部分、他の自治体、26市等をはじめとする他の自治体と連携をする中で、この改善をするサイクルに乗せてもらいたい。

採択 道を聞く当事者があり、開く親があり、その後制度が後追いする。陳情者に深く敬意を表すものである。実態調査は早急に行い、結論を保護者と共有し、この夏休みに具体的に形に変えるべきである。

採択 まずはスピード、これが大事である。夏までに何とか形にするべきである。民間業者だから、国立市行政としては余りタッチをしないということではなく、これをもって新たな国立市のしょうがいしゃ福祉がスタートするものと期待する。

平成29年第2回定例会 各会派の議案への賛否				○：賛成 ×：反対								議決結果
議案番号	件名	概要	会派名（人数は議長を除く数）									
			自5	新4	共3	公3	風2	社1	こ1	み1		
市長提出議案	予算	第51号 平成29年度国立市一般会計補正予算（第1号）案	【補正額】+1億2,009万5千円 【補正後の総額】291億5,009万5千円 南部地域整備事業公有財産購入費、水路護岸整備工事等の増	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20
		第52号 平成29年度国立市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	【補正額】△81万7千円 【補正後の総額】54億7,750万1千円 介護給付費繰入金、嘱託員報酬の減	○	○	○	○	○	○	○	○	
	条例	第44号 国立市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案	雇用保険の失業等給付の拡充等の措置を講じる雇用保険法の一部改正に伴い、失業者の退職手当に係る規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第45号 国立市債権管理条例の一部を改正する条例案	個人情報の収集、利用等を規定している国税通則法の一部改正に伴い、規定の整理を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第46号 国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	地方税法等の一部改正に伴い、規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第47号 国立市学童保育所条例の一部を改正する条例案	本町学童保育所の増築に伴い、国立市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の規定に基づく支援の単位に区分する	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第48号 国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準等の一部改正に伴い、規定の整備を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第49号 国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案	子ども・子育て支援法施行令等の一部改正に伴い、1号認定子どもについて、階層区分の利用者負担額の軽減を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	
		第50号 国立市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	介護保険法施行規則の一部改正に伴い、主任介護支援専門員の定義を改める	○	○	○	○	○	○	○	○	
	その他	第42号 (仮称) 国立駅東側高架下市民利用施設新築工事請負契約について	【金額】2億1,378万7,280円 【事業者】昇和建設株式会社 多摩営業所 電子入札による制限付き一般競争入札	○	○	○	○	○	○	○	○	
第43号 国立市庁舎受変電設備等更新工事請負契約について		【金額】2億2,845万8,880円 【事業者】高野電気工業株式会社 電子入札による制限付き一般競争入札	○	○	×	○	×	×	×	×		
第53号 財産の無償貸付けについて		「老人福祉に役立ててほしい」との遺贈者の希望により、高齢者を含む地域住民の誰もが気軽に立ち寄ることができる「居場所づくり事業」を展開するため、運営を行う住民主体の団体に、市が遺贈を受けた富士見台2丁目の土地及び建物を貸し付ける 無償貸付けの相手方 ひらやの里	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20	
第54号 財産の無償貸付けについて		コミュニティ活動の推進を図ることを目的として、集会の場として地域住民の利用に供するため、認可地縁団体に集会所を建築する土地を貸し付ける 無償貸付けの相手方 青柳中央会	○	○	○	○	○	○	○	○		
第55号 国立市の町区域の新設及び変更について		国立市大字青柳字甲州道中南の一部等の区域に国立市青柳二丁目を新設し、一部の区域を青柳三丁目に変更する	○	○	○	○	○	○	○	○		
人事	第56号 国立市監査委員選任の同意について 藤江竜三さん 任期：平成29年（2017年）7月1日から議員の任期中	無記名投票 投票総数：19票 同意：12票 不同意：7票（うち白票3票）									同意	
	第57号 国立市固定資産評価員選任の同意について 副市長 竹内光博さん	無記名投票 投票総数：20票 同意：20票 不同意：0票									同意	
	第58号～第67号 国立市農業委員会委員任命の同意について	澤井正志さん、佐伯達哉さん、田中賢治さん、遠藤利光さん、遠藤久さん、佐藤満雄さん、北島義昭さん、佐伯雅宏さん、関藤子さん、小鹿倉薫さん	挙手による採決 出席議員：20名 同意：20名 不同意：0名 (左記の10名全員が、同意された)								同意	
議員提出議案	意見書・決議	議員提出第6号 日本軍「慰安婦」問題に対する国の誠実な対応を求める意見書を継承する決議案	【提出者：尾張美也子議員ほか3名】国立市議会は、2009年12月に議決され、過去のことだけでなく、現在を生きる国立市民の人権を守り、安心して暮らせるまちをつくることにつながっている「日本軍「慰安婦」問題に対する国の誠実な対応を求める意見書」を尊重し、継承していくことを確認する	×	×	○	○	○	○	○	○	可決 ○11×9
		議員提出第7号 主権者の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める意見書案	【提出者：重松朋宏議員ほか2名・賛成者2名】国及び国会に対し、より広い市民の政治参加を促進するため、国政・地方選挙における高額な供託金制度の見直しを求める	×	○	○	×	○	○	○	○	可決 ○12×8
		議員提出第8号 大学通り高層マンション建設をめぐる元市長に対する国立市の債権のうち、三重取りになる債権の放棄を求める決議案	【提出者：関口博議員ほか2名・賛成者2名】元市長に対する国立市の債権のうち、三重取りになる、関口元市長、長嶋元副市長の給料減額分及び年5分の割合による利子を放棄する	×	×	○	×	○	○	○	○	○
陳情	陳情第7号 働き続けながらしょうがい児を育てられる環境整備を求める陳情	【陳情者：国立市民10名】国立市に対し、土曜日や学校の長期休暇中にしょうがいをもつ中高生が朝からデイサービスで過ごせるように必要な支援を行い、働きながら子育てができる環境を整えるよう求める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 ○20
	陳情第8号 日本軍「慰安婦」問題に対する国の誠実な対応を求める意見書を継承することを求める陳情	【陳情者：国立市民ほか11名】国立市議会は、2009年12月18日に可決された「日本軍「慰安婦」問題に対する国の誠実な対応を求める意見書」について尊重し、継承していくことを決議することを求める	×	×	○	○	○	○	○	○	○	採択 ○11×9
	陳情第9号 国立市内温浴施設に関する陳情	【陳情者：国立市民】重度しょうがいしゃである陳情者が、入浴用車いすを使用し、一刻も早く安心して市内温浴施設に入浴できるように、国立市議会として、国立市がさらに強く事業者働きかけることを求める	付託された福祉保険委員会において継続審査となったため、本会議で閉会中の継続審査とすることの議決がされた								継続審査	
	陳情第10号 2014年11月20日付け陳情書陳情第9号差し押えについて（生活困難者の対応について）に関する陳情	【陳情者：国立市民】 2014年11月20日付け陳情書を提出するも、議員の審議結果も事務局の報告も、議会の検討内容や議事録も、何1つ陳情者本人は連絡がないまま、2017年5月31日、1枚の紙面を事務局から手渡しされたことは、あまりにも無責任ではないか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択 ×20

会派略称 自=自由民主党・明政会（石井伸之・青木健・大和祥郎・高柳貴美代・大谷樹樹・遠藤直弘） 新=新しい議会（藤江竜三・稗田美菜子・石井めぐみ・渡辺大祐）  
 共=日本共産党（高原幸雄・尾張美也子・住友珠美） 公=公明党（中川喜美代・小口俊明・青木淳子） 風=緑と自由の風（重松朋宏・関口博）  
 社=社民党（藤田貴裕） こ=こぶしの木（上村和子） み=みらいのくにたち（望月健一）

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局(市長や教育委員会など)に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

すべての子どもが希望を持てる社会をつくる

みらいのくいたち 望月健一 議員

Q 強く要望している中学校の放課後学習支援教室の検討状況は。
A 実施に向けての検討をさらに進めていきたい。
Q 高校や大学など市内教育機関の用地を借りて、保育園新設できないか。
A 保育需要がある地域の教育機関に打診したい。
Q 健康・医療・福祉のまちづくりを進めるため、サービスとハードを組み合わせる必要があると考えるがどうか。
A 健康づくり施策とハード(公園・歩道等)との連携は相乗効果がある。
Q 要望していた福祉総務課の学習支援事業の対象



保育士の確保と育成について 空き家の調査と有効な活用を

新しい議会 石井めぐみ 議員

Q 待機児童の解消には保育所の整備と共に保育士の確保が課題だが、市の取り組みは。
A 保育士宿舍借り上げ支援やキャリアアップ支援など保育士の処遇改善を図りながら、働きがいのある良好な環境づくりに取り組む。
Q 空き家の調査結果を踏まえ、アーティストの創作の場や、借主負担のDIY型の賃貸物件にするなど国立らしい有効な利活用ができないか。
A 現段階では難しいが、他市で行っている先進的な事例は参考にしたい。
Q 情報弱者をなくすため



小中学生の医療費の所得制限撤廃、中学3年までに拡充を

公明党 中川喜美代 議員

Q 平成27年度から実施している「国立ベンチ事業」の進展状況は。
A 16基のベンチを、大学通り緑地帯に寄附者の心温まるメッセージを付けて頂いて設置している。
Q 現在、小3まで実現している小中学生の医療費の所得制限撤廃を、中3まで拡充して頂きたいが。
A 「市長」中3まで一気に拡充する方向で予算調整ができたかと考えている。
Q 老人クラブは、約10年間で4クラブが消滅し、約70名もの会員が減少している。市としての早急な支援を要望するが。
A 「老人クラブのあり方」を話し合う場を検討するために、6月中旬に社協との意見交換会にかけ「話し合う場」を設定する。市連と話し合いながら、方策を詰めていく。
Q 新地方公会計制度の進捗状況について、質問のたびに実施時期が遅れ、答弁も大変不誠実であり、行政との信頼関係が崩れる恐れがある。本年の決算特別委員会に新しい財務諸表など公表するのか。
A 市長も政策経営部長も本年の決算特別委員会での公表と認識していたが来月3月議会での委員会報告となる。申し訳ない。



新設する「まちの振興課」に賑い創出と地域活性化を期待

自由民主党・明政会 大谷俊樹 議員

Q まちの振興課の仕事は。
A 商工観光関連事業者とNPO等で活躍する市民の方々、事業者との連携・協働を通じたまちの振興と、消費生活相談等の市民相談等により一層まちの振興に取り組む。
Q 市民の期待に出来るか。
A 市民の方々と連携・協働を推進していく生活コミュニケーション課と商工観光の振興を通じたまちの活性化を推進していく商工振興部門を一つの課として統合し、双方の施策の連携強化を図ることで、よりまちの振興を強く推進していく事ができると考えている。



泉地域に交番設置を 南部地域のパトロール強化を

公明党 小口俊明 議員

Q 泉に交番を設置してほしいが市としてどうか。
A 平成28年に立川警察に安全安心の要望書を提出した。今年度も要望する。
Q 南部地域のパトロール強化の要望についてその後の進捗は。
A 平成29年4月に泉地域の定期的巡回を要望した。立川警察からは110番対応が多く定期的巡回は難しいとのことであったが、継続して要望していく。
Q コミュニティワゴン休止後の交通不便地域対応は。
A 福祉交通施策推進庁内連絡会を4回開催し、方針案をまとめている。対象地域は三中、インター周辺、ママ下湧水公園周辺等で事前予約が必要なデマンド型を考えている。
Q 総合型地域スポーツクラブ事業について国の取り組みと都内の進捗状況を把握しているか。
A 国が生涯スポーツ社会の実現に向けて提唱したのも。都内54地域132のクラブが設置済み。国立市を含め2市が未設置である。
Q 国立市は未設置だが今後の取り組みは。
A 地域住民が運営するため、場所、種目、運営管理が課題である。体育協会や文化・スポーツ振興財団等と相談し進めたい。



持続可能性、参加と合意を 無視した開発はツケを残す

緑と自由の風 重松朋宏 議員

Q 国立駅南口公共施設建設の、実際の市の負担はどれくらいになるか。
A 用地費16億円、建設費20億円を20年返済する。
Q 40年度まで毎年7千500万円、1億6千500万円の支出になるとみてよいか。
A 概ね、その額になる。
Q 維持費を加えると長期間、毎年約2億円を負担してでも必要な公共事業だと市民は納得しているのか。3月議会でも複数の議員から着手が要求された開発事業(①南武線高架化、②矢川団地を貫く都道建設、③さくら通り西延伸、④矢川駅南口区画整理、⑤谷保駅南口区画整理)のうち、①、②、③、④、⑤のどれかに入っているか。
A どれも入っていない。
Q 南部地域整備基本計画の10年間の優先計画や中期財政見直しには、①、②、③、④、⑤のどれかに入っているか。
A どれも入っていない。
Q 他、歩き・自転車・公共交通促進、マイカー抑制など持続可能な「遅い交通」まちづくりを質問。



事業内容を精査して、駅前常設の子育て広場をつくらう

社民党 藤田貴裕 議員

Q 矢川プラスの内容と建設費はいくらか。
A 都営矢川北アパートの建て替えによって生じる空地を活用する。現在、都と協議中だが、保育園、児童館、子ども家庭支援センターなど子育て機能と、多世代交流のエンターランスで使う。建設費用は約10億円で維持費は積算していない。
Q 国立駅近くに造る公共施設の内容と事業費は。
A 子育て機能、多目的ホールなどで使う。事業期間を50年とした場合、1年間で必要な一般財源は9千万円になる。
Q さくら通りの自転車道に設置されたポールが邪魔なので撤去してほしいがどうか。
A 桜と自転車の衝突を防ぐため、警察の指導で設置した。1丁目の東側区間は埋め込み型の反射鏡になっているが、視認性の高いポールにすべきと警察から指導された。市民から苦情が出されたので数回警察に相談した結果、今後はポールの高さを低くし色も茶色に変更し景観保護と安全性を確保したい。
Q 市が行っている自殺予防対策は何か。
A 都の相談窓口案内やゲートキーパー研修を実施。



だれもが共に生きる、住んで良かったと思えるまちに!

日本共産党 住友珠美 議員

Q 子どもの貧困問題は生活の質の向上を図るためにも、実態調査を行うべきかどうか。
A 「子どもの貧困対策推進のための検討会」を庁内で立ち上げた。実態調査は今後の検討。
Q 就学援助の拡充と、新入学用品費の支給時期の検討はできないか。
A 現在は実施する方向で詳細を検討する予定。
Q 平成27年度に介護保険制度改革でマイナス改定となったが、今後を見据え事業者への実態調査を行うべきかどうか。
A 利用者数が増えない限り利益は減額するが、影響については分析中。
Q 近所の方とひとり暮らし高齢者の関わりに対する支援はどうなるのか。
A 地域包括支援センターと地域の方と一体となって検討する必要がある。
Q 第7期介護保険事業計画に、住まい方の一環として特養ホームを考えてほしいがどうか。
A 保険サービスのうちのひとつとして介護保険運営協議会で議論の予定。
Q ふくふく窓口は意義ある場だが、生活保護に対して行き届いているのか。
A 必要に応じて生活保護の説明・手続きをきちんと行っている。



# 一般質問 要旨・発言順

## 子育て支援の充実と防災・減災対策を問う

公明党 青木淳子 議員

Q 母子カルテ活用を問う。  
A 妊娠届時に「く」にサポ」窓口で保健師が直接面談することで妊娠・出産・育児へと切れ目ない支援につなげていく。

Q 新生児訪問が早期にできるよう体制作りを望む。  
A 妊娠届時の面談を基に、出産後、早期に新生児訪問を行うよう努めていく。

Q 新生児聴覚検査の取り組みは。  
A 費用助成している先進市を研究し、他市と連携して検討していきたい。

Q インフルエンザ予防接種の助成を要望するが。  
A 多摩地区では3市が任意のインフルエンザ予防

接種費用の助成を実施している。  
Q 女性防災会議の開催を提案するが、どうか。  
A 女性防災会議について研究・検討していきたい。

Q 市民防災会議の開催を提案するが、どうか。  
A 先進市を参考にし、住民目線で防災を考える取り組みを検討したい。

Q 中央線北側道に信号機と横断歩道の設置を要望するが、どうか。  
A 信号機の設置は引き続き立川警察へ要望する。

横断歩道は、立川警察より設置に向け東京都公安委員会へ上申するとの回答があった。



## 平和・人権基本条例の今年度中提案、制定に期待する！

こぶしの木 上村和子 議員

Q 佐藤前市長の平和・人権に対する姿勢を条例にして継承したいと永見市長は3月議会で答えた。その後の進捗状況は。  
A 若手の職員や被爆樹木アオギリ二世の植樹式で平和のメッセージを語った大学生等の若い世代の声を入れて今年度中提案。

Q 3月議会で市制50周年記念行事として「(仮称)しようがいしやがあたりまえに暮らすまちの歴史展」50年後の未来に向けて「」を提案し、健康福祉部が担当、実施したいとの回答があったが、その後のスケジュールや検討状況は。  
A 今回の歴史展の趣旨にのっとり、広く市民、特に高校や大学にも協力を呼びかけ、キャラバンのような形で実施したい。

Q 上原元市長から納められた賠償金の活用については景観を守るために使って欲しいとの市民からの要望は配慮すべきでは。  
A 「市長」国立駅周辺や大学通り、南部の良好な景観保全に活用できたら国立駅高架下にてできる(仮称)女性センターのコンセプトはあるか。  
A 一人の市民、相談者を大切にできるセンターに他、依存性への取り組み、社会教育等を質問。

## 必要な事業の質を高める為に評価に基づいた事業の整理を

新しい議会 渡辺大祐 議員



Q 子育て応援アプリの成果の検証は行っているか。  
A アクセス結果をどのように活かすかという分析は確立されておらず今後の課題と捉えている。

Q 今後は成果分析等を行っていく考えはあるか。  
A 今後の手法を早急に確立させていきたい。

Q ターゲットに合わせて情報の最適化を行うべき。今後の運用についての見解は何か。  
A 他ツールとの連携など情報提供の仕組みを工夫する。

Q 深夜高速バスや羽田空港行きバスの停留所になるなど谷保駅がキーステ

ーションになりつつある。どのように進めるのか。  
A 行政主導で進めるか、民間主導で進めるか、方向性は定めていない。ニーズを把握しながら考えている。

Q スクラップアンドビルドをどのように進めるか。  
A 事業評価のための職員向け研修を実施し、市の裁量性の有無を事業ごとに整理するなど仕組み化できるようにしていく。

Q スクラップアンドビルドをやるのか、やらないのか、覚悟を問う。  
A 事務事業のスクラップアンドビルドを行なっていく。

## 南武線の高架事業で南部地域の整備と地域振興を

自由民主党・明政会 遠藤直弘 議員



Q 南部地域が一体となり、災害時を考慮3・3・15号線を整備するためにも南武線の立体交差事業を進めるべきと考えるが、庁内での検討状況は。  
A 南部地域のまちづくりにおける立体交差事業のあり方や効果や影響と、東京都が平成16年に策定した踏切対策基本方針の位置づけなどの状況分析をしている。また高架化されるのが市内の一部であり市民からの理解が得られる適正な事業費負担の事や、高架されない谷保駅地域でどのような取り組みが考えられるかなど検討している。

Q 20年オリピック・パラリンピックで海外からの観光客を国立市に取り込むことや、地域の活性化を考えた谷保駅の駅名を関東の三大天神でもある谷保天満宮駅に名称変更しては。  
A 地域のイメージや知名度の向上を図り地域の活性化につなげていくという考え方はある。しかし、かかる多額の費用を、国立市から請願の場合、市が負担することになる。また長年親しまれてきた谷保という駅名に対し地元の皆様への思いや地域の歴史なども含めて考えていく。

## 新しい技術を活用しよう

新しい議会 藤江竜二 議員



Q 公共建築物の統一なデザインについてはどういった検討をするのか。  
A 統一的なデザインと言うことについては景観形成基本計画の趣旨を踏まえ、財政的な観点も配慮しながら検討していかなくてはならないと考えている。

Q 富士見台地域においてデザインコンセプトを作ってまちづくりができれば。  
A まちとして統一されたデザインコンセプトについては行政の一方的な考え方ではなく地域の方々と話し合い、協議しながら進めていきたい。

Q デザインの活用はどうか。  
A ビックデータの一つである交通プローブ情報を活用した確な道路整備ができないか。

Q プロープ情報の活用は必要なものと認識しているが、渋滞対策や交通安全対策に活用を図ってほしい。  
A テレワークを推進するにあたって課題はあるか。

Q 実施に向けて、東京都等先進自治体の情報等の収集および事例を検証していきたいと考えている。  
Q オープンデータの進捗状況はどうなっているか。  
A 年度内には何らかの形で公開できるように進めて参りたい。

## マイナンバーは、無駄で危険であることを行政は認識せよ

緑と自由の風 関口博 議員



Q マイナンバー制度は、人を番号で管理し、あらゆる個人情報を集積し、市民の安心、安全を脅かす制度である。当初よりトラブル続きであるが、現在の課題はなにか。  
A 厚労省のトラブルにより本格稼働ができない。特別徴収税額通知書の誤配送等により個人番号が漏洩する可能性がある。

Q マイナンバーカードを使用し各種証明書をコンビニで取得できるコンビニ交付は、初期費用4千万円と年間900万円のランニングコストがかかる。稼働から5月までの交付枚数はいくらか。  
A 3カ月で28枚である。1枚200円の証明書発行に1万4千円のコストがかかる計算となる。税金の無駄遣いである。国は、20年までに、銀行、保険会社等と連携する予定であり、職員の負担はさらに大きくなり、経費も膨大なものになる。しかも、個人情報の集積は巨大化し、コントロールがきかなくなる。法定受託事務だからと言って無批判に行うべきではない。市長の考えは。

Q 「市長」法定受託事務は粛々と執行するのが基本。市の事務の範疇においてきちつと対応する。

## 国立駅南口複合公共施設と周辺整備について早急に結論を

自由民主党・明政会 青木健 議員



Q 国立駅南口複合公共施設におけるコンサルタント会社選定の基準と副市長のかかわり方は。  
A 企画提案書及びプレゼンの内容を審査基準表に基づき点数をつける。また、副市長の立場から積極的に関与していきたい。

Q 3・4・10号線北工区の事業化決断は。  
A 南工区の進捗もあるが市全体の事業と財政の確保を含め判断したい。

Q ロードサイドに残されたサブプロクの土地の用途変更に対する市の方針はどのように変わったのか。  
A 従来行っていた一斉見直しではなく沿道型の地

区計画もできるといふことになった。3・4・5号線も同様に地域の合意を得ながら進めていけばと考えている。

Q コミュニティワゴンが廃止された交通不便地域への対応はどうなるのか。  
A 対象地域を三中及びインター周辺やママ湧水公園周辺とし、予約があったときのみ運行する事前予約が必要なデマンド型交通システムにしたい。

Q 南部地域発展のカギを握る本町商店会に対する市の見方は。  
A 谷保ら夏祭りなど多くの市民が参加しまちのにぎわいになっている。

## 市民アンケート結果を大切にしたいまちづくりや保育施策を

日本共産党 尾張美也子 議員



Q 都計道3・4・10号線延伸部分の停車帯を植樹帯に変更し回遊性ある空間に。  
A 現計画のままで再認可の申請をする。

Q 国立南口複合公共施設は市民アンケートの結果を反映した図書館にすべきだが。  
A 賑わい創出のため多目的ホールとする。

Q 保育所待機児で両親フルタイム勤務は。  
A 待機児15名中49名。

Q 待機者の実態調査を行い施策に生かせ。  
A 調査を行い生かす。

Q 保育の質のガイドラインを作るべきでは。  
A 専門家や保育士等とともに作成する。

Q 民営化は保育士を変えない方法に。  
A 調査研究を進める。

Q 国保税の所得100万円以下の差押えが多い原因と対策は。  
A 3割が100万円以下。生活困窮と比例していないと考える。

Q 差押えの基準は。  
A 督促しても相談に來なければ、資産調査の上、預貯金の差押えを行う。

Q 支払困難な場合の減免申請の周知を。  
A 方法を検討する。

他、答の回収は無料にしてはどうかと質問。

# 一般質問 要旨・発言順

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

**交通不便地域のコミバス運行認可保育園の増設はかれ**

**日本共産党 高原幸雄 議員**

交通不便地域の地域交通について、デマンド型交通の導入の考えは。

A くにっこミニ休止後の運行形態はデマンド型交通システムを考えている。

Q 保育園待機児童対策について現状と取り組みは。

A 4月1日現在125名で、3歳未満児119名と大半を占めている。取組みでは、あと2園の整備計画で、富士見台2丁目に私立保育園を新設、中2丁目に私立保育園を公募したいと考えている。いずれも平成30年4月、31年4月の開園を目標にしている。

Q 南部のまちづくりは都市計画道路優先でなく、

A 将来にわたり農の営みが可能で農業文化を伝えられる場所と考えている。

住民合意のまちづくりを都施行の都市計画道路と市施行の都市計画道路、市の財政負担は。

A 都施行の2路線は現状は住宅や畑が多く残されている。市の財政負担はない。市施行の3・4・14号線約40億、3・4・3号線9億8千万円、3・3・15号線約30億円、3・4・10号線北側部分14億円、3・4・8号線は出していない。

Q 谷保の原風景保全基金の活用について、対象となる地域はどこか。

A 将来にわたり農の営みが可能で農業文化を伝えられる場所と考えている。



**国立市の女性が未来に希望を持ち暮らせるまちの実現を!**

**自由民主党・明政会 高柳貴美代 議員**

子育て支援体制強化は重要で子育てに関する協定締結を要望する。また国立市の子ども総合相談窓口のように、総合的な支援を一体的に実施する市は他にあるか。

A 手当、医療助成、ひとり親支援、母子保健の入り口といった総合的な支援を行う市は数少なく先進的な取り組みと考える。

Q 働き方改革は暮らし方改革ととらえ、国立市の女性の活躍推進を図る為の魅力の且つ実質的な就業支援及び起業支援を行う事を要望するが、国立市の今後の考えは。

A 平成30年度開設予定の中央線高架下市民利用施設（仮称）男女共同参画センターの活用を念頭に、庁内で他部署間連携し、女性の高いニーズに一層応えられる工夫を凝らして参りたい。

Q 国立駅南口多摩信用金庫前バス停のベンチが2台撤去されたが、今後のベンチの設置予定は。

A 国立駅周辺整備事業において当該バス乗り場の整備も進められる予定ではあるが、当面の対応策として、利用者が望むベンチの設置を調整して参りたいと考えている。

他、高齢者支援についてを質問。



**市民の命を守る、がん対策推進基本条例を早期制定せよ**

**自由民主党・明政会 石井伸之 議員**

三人に一人が癌で亡くなり二人に一人が癌に罹患する現状を改善する為、（仮称）国立市がん対策推進基本条例を制定すべき。

A 「市長」条例を作る意義はある。十分検討する。

Q ピロリ菌検査助成制度の予算額と実施時期は。

A 160万1千円を計上し、10月を目途に実施。

Q 忍び寄る病魔から市民の命を救う為にも健康増進に繋がる健康フェスタを他市に倣い実施しては。

A まずは各種イベントとタイアップし、保健センターのブースを設けたい。

Q 南武線高架化について副市長の見解は。

A 調査研究を重ね、論点を整理した議論を行い計画行政に位置づけるべき。

Q ママ下湧水公園ピオトープ部分の一般開放又は学校・幼稚園・保育園等へ開放すべきでは。

A 環境学習の視点からも提案を受止め検討。

Q 公会堂・集会所・地域防災センターを避難所候補施設より一時避難場所へ早急に移行すべきでは。

A 移行に向けて支援する。

Q 学童保育において子ども子育て新制度における小学6年生までの受入れに向けた調査検討状況は。

A 事前調査を行いH31年度迄に入所整備を進める。



**未来を見据えた教育と子育てを!**

**新しい議会 稗田美菜子 議員**

市におけるアクティブラーニングの現状と課題、また今後の取り組みは。

A 次期学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びを目的とするアクティブラーニングを全教科の授業に導入していくために、4月に小・中学校合同授業研究会全体会の中で全教員に対しアクティブラーニングに取り組み背景やこれまで市が取り組んできた問題解決的な学習過程を重視した授業作りとの関連について周知徹底した。

Q 実際にどう変わるのか。

A 学びの過程の改善を図る過去にない改定。決まった型がないと考える。

Q 教員の勤務状況をどう把握しているか。

A 日にちごとに出勤簿で管理職が把握している。

Q 健康面からも教育環境の充実の面からも教員の長時間労働の改善が必要と考えるが教育委員会では具体的にどう取り組んでいるのか。

A ワークライフバランスの徹底周知と校長・副校長のリーダーシップの下、様々な働き方に対応できるように取り組んでいく。

他、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病などのハイリスク妊婦への支援等を質問。



## 行政をチェック! ~6月議会での行政からの報告(抜粋)~

毎議会、本会議や委員会の中で、市当局から各種行政計画の進捗状況などについて報告され、議員から活発な質疑や意見が出されます。

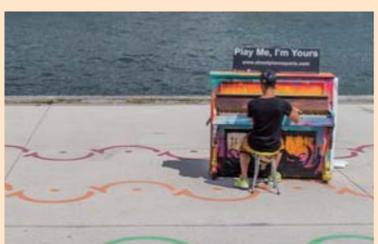
### 土地開発公社で公有用地を先行取得する可能性があります

〔国立市土地開発公社の経営状況について（▶本会議）〕

- ▶ 国立駅南口公共施設等用地の駐車場活用の収益から、国立市に2,300万円を寄附した
- ▶ 2016（平成28）年度の用地取得や売却はなかった
- ▶ 2017（平成29）年度も当初予算時は用地取得予定はないが、年度内に都市計画道路3・4・10号線用地（約8億円）を先行取得する可能性がある
- ▶ 残った公有地の都市計画道路3・4・8号線用地（4億2,653万円分）は、隣接する南北主要都道・立川3・3・30号線の事業化に合わせて整備したい
- ▶ 谷保の原風景となる農地に相続が発生した際、財政的な担保などを検証した上で、土地開発公社が先行取得することも考えられる

### 2年に1度の芸術祭(アートビエンナーレ)が開催されます

〔公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について（▶本会議）〕



Photograph by Gael

- ▶ アートビエンナーレ屋外彫刻展として、公募した彫刻10作品をさくら通りに設置する
- ▶ 広場や街路に装飾ピアノを置き、誰でも自由に弾けるアートプロジェクトを日本で初めて、2018（平成30）年3月の2週間、開催する
- ▶ 芸術小ホール、体育館の夜間の時間延長、公共施設予約システムの本格導入を行った
- ▶ 外壁改修工事のため、2018（平成30）年1月～7月の平日昼間、芸術小ホールを一部使用制限する
- ▶ 郷土文化館の学芸員3名を、嘱託員から正規職員にする

こんな意見がありました

- 大学通りの彫刻も市民に浸透していないのに、さくら通りの狭い緑地帯になぜ彫刻を置くのか、理解できない
- 高価なピアノをペイントして屋外に置くというのは、納得いかない
- 予算をかけてビエンナーレをやるなら、安全対策や広報など、しっかりやってほしい
- 学芸員の正規雇用化は評価するが、市職員と給与格差があり、処遇改善を求める
- 国立市の文化行政の要は建物ではなく、サポート力や知的財産や人だと思いが、そのことをきちんとアピールしてほしい

## 北秋田市、イタリア・ルッカ市との都市間交流を検討します

〔国立市都市間交流事業検討プロジェクトチーム報告書について（▶総務文教委員会）〕



- ▶若手職員のプロジェクトチームで、都市間交流の目的と効果、交流先、事業内容について検討してきた
- ▶まず国内・国外1都市ずつ選定して都市協定を結び、市民主体で継続的に交流していく
- ▶候補都市として、児童交流や「まと火」で交流実績がある秋田県北秋田市、国立市の桜を寄贈している実績があり、先方からも友好都市協定締結の意思があるイタリア・ルッカ市を選定した

こんな意見がありました

- 国内外でまず1都市ずつとの方向性は妥当だが、つながりのある都市はもっと多く、無理に急がず丁寧に進めてほしい
- 市民は税金の使い道に厳しいので、協定を締結する前に市民の理解を得るべきだ
- 海外については市民周知を慎重に、長く交流がある北秋田市は早目に進めてほしい
- 国内交流は理解できるが、国外は抵抗があると思うので、効果をしっかり説明すべき

## 市内の空き家対策に取り組みます

〔国立市空き家等実態調査結果について（▶総務文教委員会）〕

- ▶総合的な空き家対策の基礎資料として、市内全域から空き家と思われる戸建て・2階建て以下のアパート320棟を対象に調査した
- ▶居住・使用中のものを除く210棟の所有者の意向を調査したところ、半数は回答がなかった
- ▶12棟が空き家対策法の特定空き家と判定される
- ▶特定空き家候補93棟のうち、著しく危険な建物はなかったが、損傷が激しいものが34棟あった
- ▶所有者の意向は「現状のまま」が一番多く、「市・地域での利用」予定はゼロだった

## 緊急度の高い老朽下水管の改築を行います

〔国立市公共下水道ストックマネジメント基本計画の策定について（▶建設環境委員会）〕

- ▶国立市の下水管は総延長218.8km、一般に耐用年数が50年と言われる中で、平均して30～40年経過している
- ▶経過年数と人口密度で地域ごとのリスク評価を行い、長期的な健全度と事業費から5つの改築シナリオを検討した結果、緊急度の高い下水管のみ改築するシナリオ3を選択した
- ▶マンホールや鉄ぶたを含む下水道施設全体の改築事業費はピーク時で年6.7億円、平均して年4.3億円になる

## 谷保・青柳地域で、乗り合い交通を試行運行します

〔「くにっこミニ」休止後の地域交通の方針(案)について（▶建設環境委員会）〕

### 国立市地域交通計画



- ▶三中・国立インター周辺、ママ下湧水公園周辺などの交通不便地域で、デマンド型交通の導入を検討する
- ▶2019（平成31）年度に試行運行を行い、評価基準に達したら本格運行を行う
- ▶セダン型車両を基本に、ワゴン型車両についても検討する

## 小学4～6年生の学童保育受け入れが始まります

〔国立市放課後子ども総合プランに基づく学童保育所等の整備について（▶福祉保険委員会）〕



- ▶学童保育の4～6年生受け入れは、学校の特別教室の利用を基本とする
- ▶2018(平成30)年度に、「学校敷地内型」学童として本町（一小）、東（三小）、北（四小）、南（七小）学童で先行実施する
- ▶翌年度に「児童館連携型」学童として西（二小・八小）と中央（五小）、「学校敷地内型」学童として矢川（六小敷地内に移転）学童でスタートする計画である

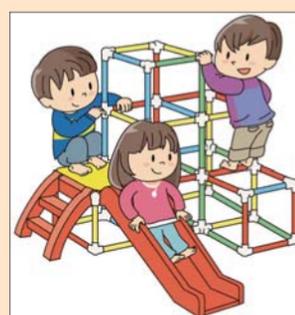
## 待機児ゼロに向け、保育園の増園を目指します

〔国立市における待機児童の解消に向けた取組について（▶福祉保険委員会）〕

- ▶2017（平成29）年4月までに施設の増設などで定員を47人増やしたが、待機児童数は125人に増えた
- ▶待機児の大半は0～2歳児で、特に1歳児の希望が増えている
- ▶2018（平成30）年4月を目指して、富士見台2丁目に保育園（定員66人）を開設する
- ▶2019（平成31）年4月を目指して、保育園の公募制度（中2丁目都有地と、地域を指定した事業者提案）をつくる

## 保育園民営化は、保護者の不安解消を第一に進めます

〔公立保育園民営化の取組状況について（▶福祉保険委員会）〕



- ▶3月議会の陳情審査を受け、民営化対象の矢川保育園を中心に保護者から直接、意見を聞いてきた
- ▶保護者・市民の意見を踏まえて、一般の社会福祉法人に移管する手法と、市が出資し設立する事業団に移管する方法をあらためて比較検討し、9月議会に報告する

## 政治倫理条例の策定をはじめました

平成29年第1回臨時会において「(仮称) 国立市議会議員倫理条例」を制定していく決議を可決しました。

それを受けて、政治倫理条例の策定を議会運営委員会において行うことになり、庁内での職員アンケートの実施、条例素案を作成するなど、条例の制定に向けた具体的な取り組みを行っています。

### 掲載記事の訂正とおわび

平成29年5月5日発行「くにたち市議会だより」No.238号の3面の記事において誤りがありました。市民の皆さま、また関係各位に心よりおわび申し上げます。今後は記事内容を十分確認し、正確な情報提供に努めてまいります。

3面 陳情第4号 議決結果

誤 「採択 ○：11 ×：9」

正 「採択 ○：11 ×：10」

### ◆ 編集後記 ◆

新たな広報委員会で発行する「くにたち市議会だより」も今号で2号目となります。

私たち広報委員会は、より良いものを作り上げたい、多くの市民の方に読んでいただきたいの思いから、公式の委員会とは別に、懇談会を行ったり、ランチミーティングを行って、日々交流を深め、自由闊達に意見が言える環境を作るよう、委員長以下委員一同頑張っています！

例えば、議会だよりは公平性が重要です。そのためには事実に沿って忠実に再現することと、言いたい事の意図をキチンとくみ取って記事にしなければなりません。そこで各交渉団体から選出された委員が、記事の内容をしっかりと練り上げるために、自由闊達に意見が言える環境を作ることが必要です。

今後も、皆さまが議会に関心を持てるよう、良い議会だよりにしてまいります。

第2回定例会より事前申請制にて手話通訳が導入されました。早速申し込みがあり本会議初日と最終日に手話通訳者が配置され、2日間で延べ10名ほどの聞こえない市民の方が傍聴に訪れました。これまで間接的にしか届かなかった情報がリアルタイムにかつ直接得られるということは、聴覚に障害がある方々にとって、とても有益なことです。聞こえる市民の方と肩を並べて議事を傍聴する姿が日常となるよう、議会通訳に努めていきたいという思いを新たにしました。



手話通訳者 和田 みささん

国立市議会では、平成29年度から、3月、6月、9月、12月に行われる定例会の初日と最終日において、事前の申し込みにより手話通訳者を配置しています。今回は、平成29年6月の定例会で手話通訳を担当された方に感想を伺いました。

## 国立市議会に手話通訳が導入されました

### ○手話通訳を希望される方へ○

平成29年第3回定例会の下記日程について、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、各申込締切日までに、問い合わせ先へお申し込みください。

第3回定例会	日時	申込み締切日
本会議初日	9月1日(金)10時から(予定)	8月24日(木)まで
本会議最終日	9月22日(金)10時から(予定)	9月14日(木)まで

### ◆問い合わせ先◆

議会事務局 庶務調査係  
FAX 042(576)2205  
HP QRコードより、手話通訳の申し込みページに移動できます。



## 第40回国立市農業まつりにて、国立市議会『意見交換会』を行います!

国立市議会では年に2回の意見交換会を行ってきましたが、もっと多くのご意見を伺いたいという思いから、今回は農業まつりに出張してご意見を伺う機会を設けました。総務文教委員会・建設環境委員会・福祉保険委員会の各委員が、皆さまからのご意見を承ります。農業まつりを楽しまれたら、ご休憩がてら気軽にお立ち寄りください。椅子とテーブルを用意して、皆さまのお越しをお待ちしています。

### 日時

平成29年 11月11日(土) 10:00～16:00  
12日(日) 9:00～15:00

### 会場

国立市役所 1階市民ロビー (予定)

### 内容

市政に関して気になること、ご意見・ご要望などについてお話しください。

### — 農業まつりとは? —

農業まつりは、くにたちの農と触れ合い、秋の実りを堪能できるイベントです。くにたちで育った農産物の展示・販売、苗木やけんちん汁の無料配布、その他多くのイベントが開催されます。また、今年も国立市消費生活展が同時開催されます。くにたちの秋の祝祭に、ぜひお越しください!



クニタキッタ



▲QRコード

## あなたの声を募集します!

### 送付先

国立市議会広報委員会ではQ&Aコーナーを予定しています。日頃、議会に対して疑問に感じていることやご感想をぜひお寄せください。

国立市ホームページ内「市議会への「意見」から、件名を「広報委員会あて」として、お寄せ下さい。  
ファクスからもお待ちしております。  
FAX 042-576-2205